

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

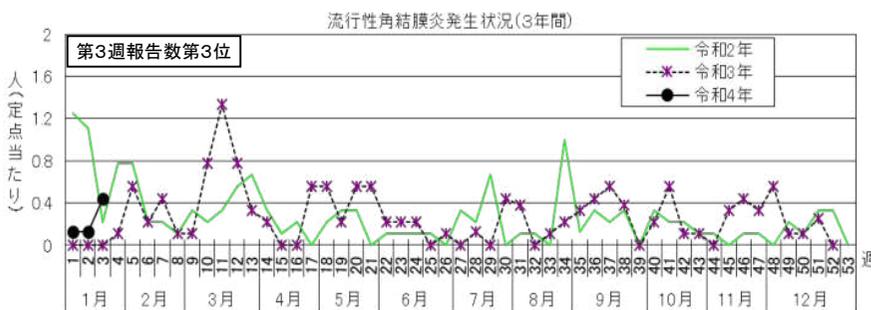
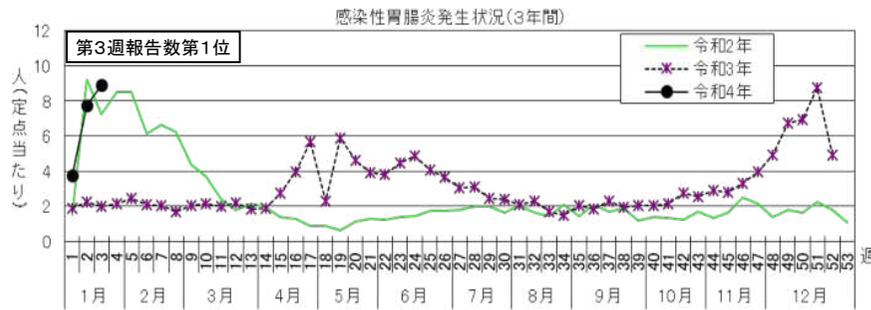
令和4年1月17日（月）～令和4年1月23日（日）〔令和4年第3週〕の感染症発生状況

第3週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3）流行性角結膜炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.89人と前週（7.73人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.54人と前週（0.54人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.44人と前週（0.13人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



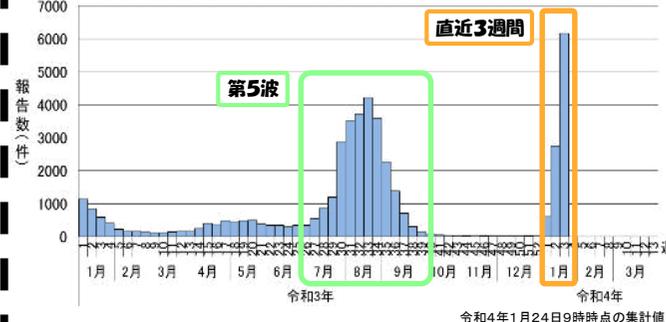
新型コロナウイルス感染症～過去最多を更新～

神奈川県では、令和4年1月21日から2月13日まで、県内全域にまん延防止等重点措置が適用されました。現在、全国各地で新型コロナウイルス感染症の報告数が急増しており、川崎市においても令和4年第3週（1月17日～1月23日）の報告数が6167件となり、過去最多を更新しました。

報告数が急増した直近3週間は、第5波（令和3年第26週～第39週）と同様に20歳代の割合が非常に多くなっています。若い世代の方は、高齢者などに感染を拡げないために、体調が悪い場合は必ずマスクを着用するとともに、人との接触は極力控えましょう。

また、60歳以上の割合は直近3週間が8.1%と、第5波の6.0%と比べて増加がみられています。高齢者の方は重症化リスクが高いため、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を是非検討ください。

川崎市における新型コロナウイルス感染症
診断週別発生状況-令和3年第1週～令和4年第3週-



川崎市における新型コロナウイルス感染症
年齢階級別発生状況-第5波(令和3年第26週～第39週)
と直近3週間(令和4年第1週～第3週)の比較-

